

屋内スケート施設あり方検討委員会

1. 競技・練習環境に係る現状や
これまでの状況について
2. 屋内スケート施設があった場合の効果について
3. 利用者確保について

2022.10.17

1. 競技・練習環境に係る現状やこれまでの状況について

【フィギュアスケート競技】

現在の使用状況

| | |
|----|-----------------|
| 土日 | 終日スケート場で練習・指導 |
| 平日 | 月に何度か貸切って本格的に練習 |

* 公認の施設の確保ができれば県大会・東日本大会の開催が可能



時間と費用の負担が大きい

【スピードスケート】

現在の使用状況

| | |
|---------------|---|
| 以前 | <ul style="list-style-type: none">・ ショートトラックの練習として利用・ 3月・4月にはショートトラックの大会にも出場 |
| オフシーズン (春) | <ul style="list-style-type: none">・ ショートトラックの練習として利用・ 県外へ行って練習 |
| オンシーズン | <ul style="list-style-type: none">・ 県外では8月から競技会スタート・ 小中学生も県外遠征 |

時間と費用の
負担が大きい

* 400mリンクが確保されれば全日本の大会誘致が可能

◆べにばな国体での活躍、これまで積み上げてきたノウハウを基に、更なる競技力向上を目指すための強化システムを確立させる。

◆県スケート連盟が目指すもの

★目標設定が必要（現状の把握、有効な戦略、）

短期、中期、長期・・・

★環境整備（屋内400m、30×60リンク）

★競技人口拡大・・・

★強化方針・・・

| | | 機会 Opportunity | 脅威 Threat |
|----------------|------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| | | ①どのような機会（チャンス）があるのか具体的に記入 | ②ライバルや活動上の脅威や障害となる事項を具体的に記入 |
| 強み Strength | ③強みを具体的に記入 | ①×③ ⑤強みを拡大するチャンスは？ | ②×③ ⑦強みを驚かす要因は？ |
| 弱み Weakness | ④弱みを具体的に記入 | ①×④ ⑥弱みを強みに変えるチャンスは？ 弱みを生かす方策は？ | ②×④ ⑧弱みをさらに拡大させる要因は？ |

【育成】

- ・ 競技人口拡大を目指し、県スケート連盟独自のスケート教室の実施と山形県タレント発掘事業と連携しながら進める。
- ・ 発掘されたタレントの受け皿を確保するため、県内クラブチームの更なる整備を進める。
- ・ 才能を開花させる最適な学びと機会とトレーニング環境を提供することを目指す。

(登録者数)

* フィギュア : 13名

* スピードスケート : 21名

【強化】

- ・ 育成されたアスリートを対象に、世界で活躍する日本代表選手や全国で活躍することを目指し、戦略的な競技力の向上を実践していく。
- ・ 県スケート連盟強化選手の年間を通じた強化合宿の実施。
- ・ 医科学分野を充実させ、選手へフィードバック
- ・ 日本スケート連盟との連携強化（地域連携事業）

【戦術】

- ・ 戦略に対して、より实际的・部分的なものとして、体力測定の実施、血液検査、栄養指導、選手の個々の目標達成のための具体的な手段、実践的な方法を推進していく。

【戦略】

- ・ 県スケート連盟として、組織を運営していくための将来を見通した方策や目標を達成するためのシナリオを作成する。
- ・ これまでの県スケート連盟の実績を活かし、更なる発展を目指す。

2. 屋内スケート施設があった場合 の効果について

★400mリンクの中に30×60リンクのある ダブルリンク

- * 山形市総合スポーツセンタースケート場での利用者数
（3ヵ月間：11月末～翌年2月末）
35,000人超（最多1日1000人超）
- * スケート教室：天候に左右されず安定した事業展開
- * トップチームの合宿・大会誘致
- * 蔵王防平での高地トレーニング施設とのタイアップ
- * 観光（温泉）とスポーツの融合

3. 利用者の確保について

【複合型施設】

「冬季」・・・雪国：安定したトレーニング環境

「夏季」・・・暑さ対策：涼しい環境でトレーニング
(他競技でも利用)

トレーニングの質を向上させることが可能

【リンク中地】

* 球技（ネット型、ゴール型）、3×3バスケ、パルクール

* 30×60リンク

フィギュアスケート、ショートトラック、アイスホッケー、カーリング

【会議室】

* エアロビクス、ヨガ、ダンス、バレエ

* 学習の場、民間企業（就職関係）

【トレーニングルーム】

* ウェイトトレーニング・・・フリーウェイト、マシン

【リンク外周】

- * 直線：トラックとして活用
- * 屋外壁面：ボルダリング

【夏季全面利用】

- * コンサートイベント、ミュージックフェス、お笑い、物産展

【学校体育】

スケート教室の開催
雪国の課題でもある、冬期間の運動量確保
体力の向上、維持、健康増進

・山形県では世界で活躍、国内トップレベルの選手多数ではあるが・・・

途切れることがあってはならない。先人たちが積み上げてきた実績やプライド。ベにばな国体での活躍があったからこそ、今がある。家庭状況、少子化や運動離れ、様々な要因がある中でどの競技団体も苦戦を強いられている。

トリノ、バンクーバー、ソチ、平昌、北京オリンピック・・・オリンピック選手が世界で活躍し、メダルを獲得している。スケートに関心が高まっている今がチャンスと考える。

これまで県外から越境し、山形中央高校へ入学しているが、北海道、長野、群馬、山梨・・・スケートが盛んな県も苦しい状況である。コロナ禍の影響もあり、地元を志望する生徒、親が増えてきている。それは、安定した練習環境（屋内スケート場）があるから。県外からの選手はもちろんだが、山形県内におけるスケート選手を育成していかななくてはならない。そのためにも、今の選手たちへのことはもちろんだが、未来の選手たち（これからスケートをやるであろう）のためにも屋内スケート場は必要であると考え。要望ばかりではなく、山形県スケート連盟が団結し、やらなければならないことを行なっていく必要がある。4年後、8年後、スケート選手は山形にいるのか・・・山形のスケートは消滅するという危機感を抱いている。

今回がラストチャンスである。この好機を活かし、スピード、フィギュア、アイスホッケーが力を合わせる時であると考え。